

登録コード	HB394100	開講年度	2026					
授業題目	成長・発達医学特論					担当教員	中沢 洋三 他	
英文授業名	growth and development					副担当	平林 耕一・齋藤 章治	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
				授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)		
	2026HB4年制加							
	【専攻】医学系や理工学系の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					専門分野の先端的な論文等を理解し説明できる。それを多角的に分析して自分の研究に活用することができる。研究内容や進捗を講義内で発表することができる。		
(2)詳細 /Detailed information	小児の成長・発達における特性と関連する疾患について学び、成長・発達過程にある小児を対象とする研究の在り方や課題について考える。							
(3)授業の概要 /Overview of course	小児の正常発達と新生児学、および小児における神経学、内分泌学、代謝栄養学、社会医学、成育医療について概説する。							
(4)授業計画 /Course plan	第1-2回 発達小児科学（中沢洋三）：小児の正常発達とそれを支える中枢神経系の変化について学ぶ。 第3-6回 新生児学（齋藤章治）：新生児の生理、低出生体重児、新生児疾患、先天異常・先天奇形等について学ぶ。 第7-10回 小児神経学（平林耕一）：てんかん、脳炎・脳症、神経変性疾患、神経免疫疾患、神経・筋疾患、神経発達障害等について学ぶ。 第11回 小児内分泌学（齋藤章治）：小児内分泌疾患について学ぶ。 第12-13回 小児代謝・栄養学（平林耕一）：小児の成長を支える代謝・栄養の特徴と、先天代謝異常症、栄養障害等について学ぶ。 第14回 小児社会医学（中沢洋三）：虐待や貧困など小児期の社会的問題とその成長・発達への影響について学ぶ。 15回 成育医学（中沢洋三）：小児期発症疾患を有する患者の移行期医療について学ぶ。							
(5)成績評価の方法 /Grading/evaluation method	論文等の討議20%、研究内容の討議40%、スライド等による発表40%で評価する。							
(6)成績評価の基準 /Grading/evaluation criteria	学外から高い評価を得られるレベルにあれば「秀：100-90点」、教員を感心させるレベルにあれば「優：89-80点」、十分なレベルにあれば「良：79-70点」、達成目標を満たせば「可：69-60点」、不十分であれば「不可：59点以下」とする。							
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容/Notes	該当範囲を、講義の前に事前学習しておくこと。							
(8)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	メールでの質問は、随時受け付ける。面接の時間が必要な場合は、メール等で時間予約をすること。＜小児医学教室：child@shinshu-u.ac.jp＞							
(9)授業の形式 /Course format	オムニバス方式							
【教科書 /Textbook(s)】	指定しない							
【参考書 /Reference work(s)】	指定しない							